

令和3年度佐伯市学力定着状況調査分析

【1年生】

		結果概況	課題と対策
1年	国語	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の正答率は、基礎は全国平均を上回ったが、活用は下回った。 ・「話すこと・聞くこと」「読むこと」「我が国の言語文化に関する事項」の領域で市平均を上回ったが、「言語の特徴や使いに関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「書くこと」については上回ることができなかった。 	<p>【課題】領域別の言葉の特徴や使い方に関する事項（漢字の読み書き問題）で、全国平均正当率を下回った。正確に漢字を覚えて使える習慣をつける必要がある。</p> <p>【対策】「活用」の平均正答率が低かったので、資料の読み取りや文章表現活動に取り組んでいく。</p>
	社会	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の正答率は、基礎は全国平均を上回ったが、活用は下回った。 ・領域別に見ると地理は全ての項目で全国平均を上回ったが、歴史は全国平均を下回る項目があった。 	<p>【課題】歴史分野の「古墳時代まで」「飛鳥時代～平安時代」の内容で全国平均を下回る項目があった。</p> <p>【対策】資料を正確に読み取り、複数の資料を関連付けて考察し、表現する活動に取り組むことが今後の課題である。</p>
	数学	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の正答率は、基礎は全国平均を下回ったが、活用は上回った。 ・基礎については、正負の数や文字式の計算、方程式の基礎的な計算ができていない生徒が半数近くいる。 ・活用についても、理解できている生徒が半数いるので平均は上回っているが、半数の生徒は無回答である。 	<p>【課題】分数や小数、正負の数や文字式、方程式の計算。</p> <p>【対策】授業のはじめの5分間や宿題で毎日計算練習をする。</p> <p>【課題】活用問題に取り組む意欲や姿勢。</p> <p>【対策】活用問題を毎日1題解かせて慣れさせる。</p>
	理科	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の正答率は、基礎・活用ともに全国平均を上回った。 	<p>【課題】領域別正答率では、「粒子」分野の「物体の状態変化」「水溶液の性質」の問題の正当率が低かった。</p> <p>【対策】実験器具の操作や粒子概念を定着させていく必要がある。また、計算問題の考え方・解き方をしっかり反復練習していくことが必要である。</p>
	英語	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の正答率は、基礎・活用ともに全国平均を上回った。 ・領域別では、3技能すべてにおいて市平均、全国平均を上回った。 	<p>【課題】リスニングの内容理解、作文において目標値を下回った。</p> <p>【対策】全体的に目標値に達していない生徒もいるため、個別の指導や反復練習を重ねていく必要がある。</p>

【2年生】

		結果概況	課題と対策
2年	国語	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の正答率は基礎・活用ともに全国平均より上回った。 	<p>【課題】領域別の言葉の特徴や使い方に関する事項（漢字の読み書き問題）で、全国平均正当率を下回った。</p> <p>【対策】正確に漢字を覚えて使える習慣をつける必要がある。</p> <p>【課題】領域別「話すこと・聞くこと」（発表の内容を聞き取る問題）で、全国平均正答率を下回った。</p> <p>【対策】相手の考えとその根拠などを聞き取る学習活動を重ねる。</p>
	社会	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の正答率は基礎・活用ともに全国平均を上回った。 ・領域別に見ると地理・歴史の両分野で全国平均を上回った。また、問題内容別でも全ての項目で全国平均を上回った。 	<p>【課題】複数の資料に着目して考察する問題で、全国平均正答率を下回った。</p> <p>【対策】資料を読み取り、考察する学習活動に取り組んでいく。</p>
	数学	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の正答率は基礎・活用ともに全国平均を上回った。 ・基礎については、式の値、等式の変形、連立方程式の加減法、一次関数のグラフの正答率が低い。 ・活用については、連立方程式や一次関数の正答率が低い。 	<p>【課題】式の値、等式の変形、連立方程式の解き方、一次関数のグラフ</p> <p>【対策】授業のはじめの5分間や宿題で毎日練習をする。</p> <p>【課題】連立方程式や一次関数の活用問題。</p> <p>【対策】問題を毎日1題解かせて慣れさせる。</p>
	理科	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の正答率は、基礎は全国平均を上回ったが、活用は下回った。 ・領域別では「粒子」分野で少し下回り「化学変化物質の質量」の問題で正答率が低かった。 	<p>【課題】領域別正答率では、「粒子」分野の「化学変化と物質の質量」の問題の正当率が低かった。</p> <p>【対策】実験操作の意味や実験結果から考察して考える問題など活用力を高める問題に多く取り組ませていく必要がある。</p>
	英語	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の正答率は、基礎・活用ともに全国平均を上回った。 ・領域別に見ると、3技能全てにおいて市町村平均、全国平均を上回った。 	<p>【課題】問題の内容別では、様々な英文の読み取りや単語の並べ替え問題の正答率が著しく低かった。</p> <p>【対策】資料やポスターなどから必要な情報を抜き出す活動や、反復練習を重ねていく必要がある。</p>